

自己決定プログラム



自己決定

自己決定プログラム (SDP) とは何でしょうか？

自己決定プログラム (SDP) は、発達障害を持つ人々とその家族が、自らの目標を達成するために必要とするサービスおよびサポートをよりよく管理することに役立つボランティア・プログラムです。このプログラムは、個人中心の計画を実施する上で必要となるサービスおよびサポートを購入するための個別予算をそれらの人々に提供します。



参加資格

- SDPの参加者は、資格認定診断に基づいてリージョナル・センターのサービスが提供される個人である必要があります。
- 家庭またはコミュニティーに住む人で、
- 承認済みのオリエンテーションに参加し、
- 以下のプログラム規則に従うことに同意する人でなければなりません。

利用開始の方法：

- オリエンテーション (必須) に参加します：
 - HRCは英語とスペイン語で行われるオリエンテーションを毎月開催します。その他の言語への通訳も、申し込みの時点と、セッションから少なくとも五 (5) 営業日前までに依頼すれば利用できます。
 - 登録の方法については、担当のサービス・コーディネーターに質問するか、またはウェブサイトで登録方法に関する情報をご覧ください。
- HRCが現地で開催する自己決定諮問委員会 (Advisory Committee) のミーティングに参加してください。このグループのミーティングは毎月第1水曜日の午後6時から午後8時まで、Zoomを使用して行われます。

*自己決定プログラムのコーチングサービスが無料で提供されますので、お問い合わせください。

SDPの5原則：

- 「自由」。これはすべての市民と同じ権利を行使する自由のことです。自由に選択したサポートで、家族や友人と一緒に、どこに住みたいか、誰と住みたいか、どのようにして時間を過ごすか、誰から支援を受けるかを決定します。
- 「権限」。自分が選択したサービスおよびサポートを購入するために、権限を持って予算を管理します。
- 「サポート」。リソースと人員を配置する機能を含むサポートのことです。このサポートにより、自分が選んだコミュニティーで柔軟に生活できるようになります。
- 「責任」。自分の生活の中で意思決定を行う責任を引き受けます。これにはコミュニティーで果たすべき大切な役割を受け入れる機会が含まれます。そして
- 「確認」。自分が頼りにするサービスを設計し、運用することにより、しっかりとした確認に基づいて、自分自身の生活において決定を下して行きます。

詳しくは、[ウェブサイト](#)の情報をご覧ください